

海外派遣隊員の家政分野に関する活動支援教材等の開発

日本女子大学

佐々井 啓

1. 事業の目的・方法

本事業は家政分野の知識・技術の修得による生活の質の向上を目指して、隊員の活動支援のための具体的な教材の開発を行う。特に途上国の人々の生活の向上に緊要性の高い保健衛生、健康、環境等の内容の充実を図り、参加型学習の指導過程の開発・提案を行うことを目的とした活動事例集を作成する。

隊員報告書の調査や帰国隊員へのヒヤリング等を行って、生活状況や現地の情報を把握し、さらに派遣中の隊員の家政分野の活動内容と問題点を明らかにして、活動事例集に反映させる。

2. 今年度の活動・成果

(1)生活状況調査

家政学の見地から、「生活の質の向上」を基軸とした国際協力活動の分類表を作成し、家政のそれぞれの領域で可能な活動を図式化し、本プロジェクトの目的を明確化した。

さらに、「生活の質」に関する調査表を作成し、帰国隊員や派遣中の隊員に派遣先の生活状況についてアンケート調査やヒヤリングを行って、「生活の質」の状況表を作成する。

(2)現地調査

アフリカのガーナ共和国で現地調査を行った。現地では、次の地域を訪問し、生活状況の調査と隊員の活動の視察およびヒヤリングを行い、現地での教材・事例集の活用とその有効性を確認し、改善すべき内容についての示唆を得た。また、現地の衣食住・衛生・環境などの状況を調査した。

1)小・中・高・短期大学などの教育機関

- ①Dahin Sheli 公立幼稚園・小学校・中学校
- ②Kumasi Polytechnic
- ③Opoku Ware Vocational Institute
- ④Ramseyer Vocational Institute
- ⑤Cape Coast Technical Institute

教育機関に派遣されている一般隊員は、教員としての経験がなくてもすぐに生徒の指導をしなければならぬ。このため、実習などの指導について具体的な指導方法や教材が望まれている。また、専門教科以外の家政領域の情報の提供も重要であることがわかった。

2)地域の職業訓練・環境支援施設

- ①ニヤリガ手工芸協会
- ②ボルガタンガ 未亡人・孤児を支援する会
- ③ガーナ家族基金ケーブコーストクリニック

地域のさまざまな活動を担っている隊員は、専門とする職種以外の情報が必要であることが明らかとなった。たとえば、クリニックでは保健や看護の指導だけでなく、健康相談の中で食生活の指導がかなり重要であることがわかった。

3. 最終成果物に向けた進捗状況

「活動事例集」は、家政のそれぞれの領域ごとに作成中である。これまでの『家庭科ハンドブック』のように、個々の活動はおよそ2ページ単位でまとめ、地域や生活の質に応じて、内容を取捨選択して活用できるように工夫している。特に、隊員のそれぞれの任地での利用の便を図るために、現地調査で得た情報と隊員報告書等の調査により、できる限り現地での活動事例を取り上げた内容および普遍的な地域での使用も考慮して作成している。